

## 日本体育・スポーツ経営学会 第46回大会

### 「新時代における子どものスポーツ環境 ―領域論を超えて―」



#### 1. 会期

2023（令和5）年3月18日（土）、19日（日）

#### 2. 会場・開催形式

早稲田大学東伏見キャンパス 79号館（東京都西東京市東伏見）

対面・オンラインの併用（ハイブリッド方式）

#### 3. 大会テーマと主たる内容

##### (1) 大会テーマ：新時代における子どもスポーツ環境：領域論を超えて

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、子どものスポーツを取り巻く環境は一変し、その結果、体力レベルの低下が進行しているという報告がなされている。こうした状況をふまえて、第3期スポーツ基本計画では、運動好きな子どもや日常から運動に親しむ子どもを増加させ、生涯にわたって運動やスポーツを継続し、心身ともに健康で幸福な生活を営むことができる資質や能力の育成を図ることがめざされている。スポーツサービスの提供をめぐる体育・スポーツ経営領域間の連携については、かねてよりその重要性が指摘されてきたが、近年、各種の資源不足を背景として、領域間連携の重要性があらためてクローズアップされるようになっており、子どものスポーツ環境づくりをめぐる議論でも、同様の議論が展開されている。例えば、部活動の地域移行をめぐる議論では、主として教員の労務環境上の問題や働き方改革の流れをうけて運営主体を学校の外部に求めているほか、地域スポーツクラブにも学校との関係構築と連携によって活動施設の安定的な確保につなげたい思惑があるなど、領域を超えることが、現状を変えるひとつのカギを握るとの認識広まっているのかもしれない。一般にこうした領域間の連携は手放しで望ましいものと理解されがちであるが、本来連携すべきでないことや連携にあたっての諸課題について十分な検討なしに一方的に進めることは避けねばならない。本学会大会では、こうした視座から新時代における子どものスポーツ環境について多面的に考えたい。

##### (2) 基調講演

<テーマ> 「これからの学校と地域：部活動研究からみえてくるもの」

<講師> 西島 央 氏（青山学院大学）

講師の西島氏は長きにわたって学校現場に足を運び、豊かな実証データに基づく研究を進

めてこられた。「学校教育活動の一環としての部活動」のさまざまな意義や役割について、あらためて見直すことの重要性とともに、そのうえで学校と地域には何かできるのか、どのような連携の可能性が展望できるのかについてご提言いただきたい。

### (3) 特別講演

<テーマ> 「子どものスポーツ障害予防に向けた領域間連携の可能性」

<講師> 広瀬 統一 氏 (早稲田大学)

講師の広瀬氏は長らくサッカー女子日本代表(なでしこジャパン)のフィジカルコーチとしてご活躍になったほか、研究面では主に子どものスポーツ障害予防に関する研究を進めてこられた。最近では、地域スポーツクラブとともに運動部活動のサポート体制を構築する試みにも参画されている。これらのご経験をもとに、これからの子どものスポーツ環境づくりについてご提言いただきたい。

### (4) シンポジウム

「子どものスポーツ環境をめぐる学校と地域の関係を考える」

コーディネーター:

嶋崎 雅規 氏 (国際武道大学) 作野 誠一 氏 (早稲田大学)

シンポジスト:

「スポーツ教育学の立場から」 小野 雄大 氏 (早稲田大学)

「ドイツの事例から」 藤井 雅人 氏 (福岡大学)

「体育経営学の立場から」 朝倉 雅史 氏 (筑波大学)

子どものスポーツ環境が多様な経営領域にわたることはいうまでもないが、日常生活における中心的な活動の場であり、また喫緊の検討が要請される領域は学校と地域であろう。本シンポジウムでは、これからの子どものスポーツ環境づくりにあたって、学校と地域がどのような関係を構築することができるのか、またそのときに超えるべき課題は何か等について、異なる立場の考え方をもとに議論する機会としたい。

### (5) 若手研究者にむけたランチョンセミナー

教育活動と研究活動の両立に向けて、若手教員・研究者を対象としたランチョンセミナーを開催する。参加者がお互いの授業での取り組みや研究活動について知るとともに、本学会の若手研究者コミュニティを活性化させるための方策について討議する。若手研究者が継続的な情報交換を行うためのきっかけづくりの場としたい(先着 20 名程度)。

#### 4. 大会日程

	時間	プログラム
3月18日(土)	9:30~9:40	開会あいさつ
	9:45~12:00	学生・一般発表
	12:00~13:30	昼休憩
	(12:10~13:10)	理事会
	13:30~14:30	基調講演
	14:30~14:45	休憩
	14:45~17:00	一般発表
	17:15~18:15	総会
3月19日(日)	9:00~10:50	一般発表
	10:50~11:00	休憩
	11:00~12:00	特別講演
	12:00~13:30	昼休憩
	(12:10~13:20)	若手研究者にむけたランチョンセミナー
	13:30~14:45	一般発表
	14:45~15:00	休憩
	15:00~17:00	シンポジウム
17:00	閉会あいさつ	

#### 5. 大会参加手続き

##### (1) 参加申込み方法:WEB 参加申込み

参加申込みフォーム <https://forms.gle/M1v1hfcmLPPXeUEn7> からアクセスしてください。  
オンライン参加の方法(URL など)については後日連絡いたします。参加申し込みにあたっては参加方法(対面/オンライン)及び発表方法(口頭/オンライン/ポスター)をそれぞれ選択してください。

##### (2) 参加申込み締切日

2023(令和5)年 **1月31日(火)**



### (3) 参加費

	会員種別	参加費
大会参加費	正会員	5,000 円
	学生会員	2,000 円
	臨時一般会員	5,000 円
	臨時学生会員	2,000 円
抄録(PDF 版)のみの購入		1,000 円

### (4) 振込先および振込締切日

<振込先>

銀行名： りそな銀行(0010) 田無支店(765)

口座番号： 普通 4094726

口座名義： 日本体育・スポーツ経営学会第 46 回大会 作野誠一

振込締切日： 2023（令和 5）年 2月20日(月)

## 6. 研究発表について

### (1) 発表資格・内容など

2022 年(令和 4 年)度会費・大会参加費納入済の正会員・学生会員、大会参加費を納入済みの臨時会員が発表できます。

#### 学生研究発表(学部生)

発表内容は体育・スポーツ経営に関する研究であり、完結している研究に限ります。なお、筆頭演者の学部生につきましては、必ず指導教員による指導を受けた者として(共同研究者として指導教員を含むようにしてください)。発表時間は 12 分です(質疑応答は行いません)。

#### 一般研究発表

発表内容は体育・スポーツ経営に関する研究であり、完結している研究に限ります。なお、筆頭演者としての発表につきましては、一人 1 演題に限ります。発表時間は 15 分、質疑応答が 5 分、計 20 分となります。

## □ポスター発表

発表内容は体育・スポーツ経営に関する研究であり、完結している研究に限ります。なお、筆頭演者としての発表につきましては、一人1演題に限ります。発表者は、大会開催期間中、指定された会場にてポスターの掲示ができます(会場については別途お知らせいたします)。また発表者は指定された時間帯に各自のポスターの前に立ち、参加者と質疑応答願います(責任着座制)。

### (2) 発表申込み

参加申込みフォームから発表の申込みをしていただき、学生研究発表及び一般研究発表については期日までに抄録を提出してください。

発表形式は、口頭発表の場合は「対面」あるいは「オンライン」、ポスター発表の場合は「対面」のみとなります。いずれの発表方法かは発表申込みの際にお知らせください。また口頭発表については、抄録(2 ページ)を提出していただきます。ポスター発表の場合は申込時に題目をお知らせください。

### (3) 抄録の提出

抄録は、「抄録発表原稿の作成要領」に従って作成し、**3月3日(金)**までに大会事務局へ電子メールに添付して提出してください。

## 7. 大会事務局および実行委員会

### <大会事務局>

〒202-0021 東京都西東京市東伏見 3-4-1 STEP22

早稲田大学スポーツ科学学術院 作野 誠一

e-mail: [sakuno@waseda.jp](mailto:sakuno@waseda.jp)

### <学会大会実行委員会>

大会長 木村 和彦 (早稲田大学)

実行委員長 作野 誠一 (早稲田大学)

委員 松岡 宏高 (早稲田大学)

山下 玲 (早稲田大学)

醍醐 笑部 (筑波大学)

斉藤 麗 (作新学院大学)

望月 拓実 (大阪国際大学)

行實 鉄平 (久留米大学)

## 8. 主催および共催

主催：日本体育・スポーツ経営学会

共催：早稲田大学スポーツ科学学術院